

令和元年度

中南の社会教育

子ども・担当者のため
中南教育事務所
非営利・地域の応援隊

中南管内社会教育の推進に向けて!

新たな時代を迎え、中南教育事務所は、新体制で令和元年度の業務を開始しました。今年度も市町村の皆様との連携を密にしながら、生涯学習・社会教育の振興に総力を挙げて取り組むたいと考えております。今年度の中南教育事務所社会教育関係スタッフは以下のとおりです。よろしくお願いいたします。

所長	吉川	満
次長	鎌田	猛
教育課長	石田	盛彦
主任社会教育主事	古川	和生
社会教育主事	鳴海	博史

※ 教育委員会訪問では、主任指導主事及び指導主事が同行します。



吉川 満 所長

管内社会教育関係課長・公民館長及び担当者会議

5月24日(金)弘前市立中央公民館相馬館を会場に、管内社会教育関係課長・公民館長及び担当者会議を実施しました。所長のあいさつに続いて主任社会教育主事が「中南の社会教育行政の方針と重点」について説明した後、社会教育主事が「県が実施する各種事業の要点と各種表彰制度」について連絡しました。

今年度は、中南地方社会教育委員連絡協議会総会と同時日程で行いました。途中に合同研修会として、弘前市からは「知的障がいのある成人の生涯学習スクール ピュアフレンズ」、大鰐町からは「子ども議会」、田舎館村からは「白寿大学」の取組が紹介されました。参加者からは「さまざまな取組を知ることが出来て良かったです。社会教育の幅の広さを感じました。」等の意見が寄せられ好評でした。その後、中南地方社会教育委員連絡協議会総会が行われました。

会議後の情報交換会も合同で行いました。例年以上の参加者を集め多様な視点から社会教育を見直す良い機会となりました。参加者アンケートからは、開催方法について80%の方が今回の方法で良いとの意見をいただきましたが、「合同開催の出欠等の集約をもっとまとめるべきである。」や「弘前駅前等交通の要所を開催地とするべき。」等の建設的な意見が出されました。来年度に向けて参考にしていきたいと思っております。

本年度の中南管内の主な行事は以下のとおりです。
また、本年度の重点及び施策の柱は4ページに掲載しています。

6月22日(土) スポーツ推進委員地区研修会
7月 2日(火) 放課後子ども総合プラン指導員等研修会(前期)
7月16日(火) 地域学校協働活動推進員等養成講座
8月 7日(水) 学校と地域を結ぶ窓口となる教職員研修
9月10日(水) 放課後子ども総合プラン指導員等研修会(後期)
10月～11月 社会教育の教育委員会訪問
1月 9日(木) 「地域の子カラ結集」合同ワークショップ

Index

- 地域のお宝物語スタート 2
- 研修会のようす
◎スポーツ推進委員研修会 2
◎放課後子ども総合プラン指導員等研修会(前期)
◎第1回中南地方社会教育委員連絡協議会研修会 3
- スキルアップ
◎ 「施策の柱」を設定! 4

高校生が生き生きと！！今年もスタートしました

「地域のお宝物語」黒石・大鰐実行委員会



本年度も「地域のお宝物語」実行委員会が始動しました。

黒石市実行委員会は5月17日（金）第1回目の実行委員会を始め、年6回の勉強会、体験活動、まとめ活動を行います。大鰐実行委員会は6月17日（月）の第1回



実行委員会を始め年5回の勉強会、研修会、体験活動、まとめ活動を行います。

両実行委員会とも令和2年2月1日（土）アピオあおもりで行われるプレゼン大会に向けて、昨年度以上の発表が期待されます。



黒石市実行委員会では6月9日（日）に体験活動を行いました。「上十川史跡巡りピクニック」において各史跡のガイドを実行委員の高校生が行いました。一生懸命説明する姿に、参加者の皆さんは長時間の徒歩の疲れも吹き飛んでいました。

オリンピック選手から学ぶ

競技を極めたから、みつけたこと

令和元年度スポーツ推進委員中弘南黒平地区研修会



6月22日（土）藤崎町文化センター及びスポーツプラザを会場としてスポーツ推進委員地区研修会が行われました。午前には、元オリンピック日本代表である熊谷克仁氏から「競技を極めたから、みつけたこと」のテーマで講義が行われました。スキー競技を始めたきっかけや、カルガリーオリンピックに出場したときの様子、その後の競技人生等について、エピソードを交えながら大変貴重な内容の話聞くことができました。また、「海外のスキー場の雪質の状態はどのようになっているのか」という質問に対し、人工雪が多いことやスキー場の気温で雪質が変わること等について、具体的に回答していました。

午後は、「健康ウォーキング」を行う予定でしたが、あいにくの雨天のため、急遽、

藤崎町スポーツ推進委員の指導の下、ユニカールを実施しました。参加者全体を12のチームに分け、4チーム3グループでリーグ戦が行われました。藤崎町スポーツ推進委員から分かりやすくルールが説明されたことで円滑にゲームが進行しました。和やかな中にも、作戦を考え投げる一投一投に、会場は大きな歓声が響き渡り、思いっきりゲームを楽しんでいました。ちなみに、中南教育事務所・スポーツ健康課合同チームは3敗の最下位となり来年のリベンジが期待されます。



放課後子ども総合プラン指導員等研修会(前期)

身近なものを使ったかんたん遊び

ひろさきレクリエーション協会 理事長 小関 潤子氏 を講師として

7月2日(火)弘前市立中央公民館相馬館長慶閣を会場に放課後子ども総合プラン(前期)が開催されました。「身近なものを使ったかんたん遊び」と題して、レクリエーションの意義や場面にあった遊びのプログラム等について説明が行われました。実際のメニュー提供での留意点や主体性を育む方法などについて詳しく説明がなされ、参加者にとって分かりやすい内容となっていました。また、後半の演習では、身体だけを使ったレクリエーションや新聞紙を使ったレクリエーションが数多く紹介され、参加者全員で実際に体験しながら、和やかな雰囲気での研修が行われました。アンケートの記述欄には、「子どもの居場所づくりに周囲の大人や斜めの関係が大切だということが分かりました。」「身近なものを使ったたくさんの遊びの種類があることが分かり、とても勉強になりました。」等の感想が数多く寄せられ、参加者にとっては大変満足した研修会となりました。



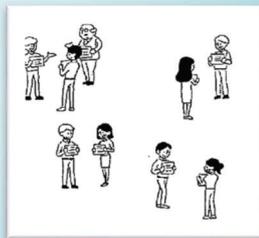
住民主体のまちづくり

弘前大学大学院地域社会研究科 准教授 土井 良浩 氏を講師として

6月20日(木)弘前市立中央公民館相馬館長慶閣を会場に第1回中南地方社会教育委員連絡協議会研修会が行われました。午前は「住民主体のまちづくり」のテーマで講義が行われました。「やりたいこと」を中心に人が集い、ゆるやかなコミュニティーが形成されていくことが大事だということが伝えられました。

〈マグネットテーブルとは〉

- ・テーマ・アイデアを記した用紙を見やすいように抱えながら部屋中を歩き回る。
- ・採取は無言で歩き回り、できるだけたくさんの人と用紙を見せ合う
- ・しばらく経ったところで、チーム作りの話し合いを始める
- ・互いの用紙を見合いながら、チーム作りの観点をもとに6人程度のチームをつくる



〈チームづくりの観点〉

- ①似たことを書いている人
- ②一緒になると化学反応を起こせそうな人
- ③自分の書いたものを「捨ててもいい!」と思える案を書いている人



また、弘前市、黒石市、平川市等の身近な事例が紹介されました。身近すぎて気付かなかった取組に参加者は驚きの声を挙げていました。

午後は「住民主体のまちづくり活動を企画してみよう!」のテーマで演習を行いました。今回の演習で特徴的だったのは、チーム分けの進め方を「マグネットテーブル」方式で行ったことです。この方式によりグループの目的意識が共有され、一体感をもった話し合いが行われました。

平成31年度(令和元年度)の重点として **スキルアップ** 青森県教育委員会「施策の柱」を設定!

教育行政における重要課題のうち、特定のテーマを当該年度の「施策の柱」として設定することにより、選択と集中による施策の重点化を図りながら、各地域の教育関係者との共同歩調を実現するとともに、教育施策を力強くアピールし推進します。

1 学ぶ意欲や主体的に探究する力の向上

ふるさとを愛する心やグローバルな視野をもち、自ら考え行動する力や情報活用能力など新しい時代に求められる資質・能力を身に付けた子どもたちを育てることが求められます。

このため、よりきめ細かな教育環境を整備しつつ、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、主体的・対話的で深い学びの実践を通して、主体的に学習に取り組む態度の育成や、思考力・判断力・表現力等確かな学力の向上に取り組みます。

主な事業

新規：学びの質を高める授業改善プロジェクト事業

継続：外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業

新規：青森県英語教育連携推進事業

継続：学校図書館活動支援事業

新規：ICT教育推進事業

継続：あおもりっ子育てプラン2 1

2 子どもを守り支える安全・安心な教育環境づくり

学ぶ意思のある子どもたちが必要な教育の機会を得ることができる環境づくりを進めるとともに、いじめや不登校などへの対策、特別な教育的ニーズのある児童生徒の学びと就労への支援を通じて、子どもを守り支える安全・安心な教育環境づくりを推進する必要があります。

このため、高校生に対する修学支援、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置等による小・中・高等学校における相談支援体制の充実、特別支援教育の充実等に取り組みます。

主な事業

新規：青少年の安全・安心なネット利用環境づくり推進事業

拡充：学校の教育相談体制充実を支援する外部専門家活用事業（スクールカウンセラー配置・派遣、スクールソーシャルワーカー配置）

継続：いじめ防止キャンペーン推進事業

継続：みんなで考えるいじめ防止対策推進事業

3 地域の活力を創り出す人財の育成と文化・スポーツの振興

地域の活力を創出し維持していくためには、学校・家庭・地域の連携の下、ふるさと青森の地で活躍する人財の育成や、健康寿命の延伸に向けた健康づくり・スポーツ振興、かけがえのない文化財の保存・活用による次代への着実な継承が求められます。

このため、児童生徒の将来の県内定着に向けた学校と地域企業等のネットワークの強化や、高等学校におけるキャリア教育の充実、地域の課題に主体的に取り組む意欲ある人財の育成等に取り組みます。

また、運動を通じた健康づくりや、国民スポーツ大会の本県開催に向けた取組等を進める。さらに、特別史跡三内丸山遺跡等の適切な保存と積極的な活用・情報発信とともに、郷土を知り、魅力を発信できる人財の育成に取り組みます。

主な事業

新規：みんなが主役！スポーツで健康づくり事業

新規：学校における運動部活動推進事業

新規：地域と連携したキャリア教育推進事業

継続：子どもたちの成長を支える「地域のチカラ結集」推進事業